

toVO トヴェ
PLUS

www.tovo2011.com

SEASON 4

No.040 - 100号まで、残り60家族、60ヶ月



NO. 040

あおもりの100家族、わたしたちのこれから。

20150711



今号（41家族目）のご家族▶

熊谷 暁人さん・明香さん・悠歩ちゃん・陽太くん

撮影場所▶もぐらや（青森市）青森県青森市長島4丁目1-1

【インタビュー】

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶暁人さん「当時は、『古川食堂（注：ふるかわしょくどう。通称ふるしょく。仲の良い数店の飲食店が一つの店舗内で営業していたフードコートのような楽しいお店が、その名の通り青森市古川にあった。2012年12月閉店。）』と、移転前の『もぐらや』をやっていたのですが、その日の晩は10名様の予約が入っていた為、買い出しに出ていたんですよ。その出先で揺れを感じました。翌日からはソロでの東北ツアーが控えていたんで、携帯電話の充電用にeneloopも買ってたんです。これが役に立ちました。」

▶明香さん「私は、成田本店のPaxで仕事だったんですが、地下だったせいかあまり揺れは感じませんでした。2人いたお客さんを地上へと避難させたところで停電。各階のお客さんもみんな避難してもらい、16時にはスタッフも帰ることになり、私は古食へと向かいました。」

▶暁人さん「『古川食堂』には、お店のメンバーや数名のお客さんも集まってきました。さびしかったんでしょうね。店には反射式のストーブがありましたんで、皆で鍋をやりました。厨房のガス台も使えたんで、懐中電灯で照らしながら串焼きも。その夜は、あのeneloopのおかげで、誰も充電切れを起こしませんでした。ただ、電話が使えたとしても、僕はツアー先の人とは誰とも連絡取れなくて…。1週間後でしたね、連絡取れたのは。その時に『一緒にまたやろう』って言った相手と、先日、『もぐらや』でライブやったんです。感慨深かったですね。」

▶明香さん「当時住んでいた家は古かったんで、すぐに『家、大丈夫？』って電話したの思い出しました。結局、そんな大きな被害はなかったんですけど、本棚から落ちた本がちょうど猫のトイレに…よりによって。翌日はいつもよりも30分早く職場に行って、懐中電灯を持って準備しました。八戸の店舗は大変だったようですが、うちはそんなに…。昼前には電気が戻ったこともあり、午後から開店。通常通り19時30分まで営業していました。そんなにお客さんは来ませんでしたけども。」

▶暁人さん「その翌日（3月13日）には、『古川食堂』も開けたんですけど、やっぱりお客さんはほとんど来ませんでしたね。その頃は流通が滞っていて、仕入れが大変でした。」

●心境や生活の変化はありましたか？

▶暁人さん「震災は、まだ子供が出来る前でしたが、もし、その時に子供がいたら『守らなきゃ』って大変だったろうな。今は自分のことよりも先に考えるもの、守るものが増えたので、いざと

いう時にすぐ動けるように気を張っています。最近何度か小さな揺れがあった時、すぐに子供をギュッと抱いて安心させましたが、ゆくゆくは子供達に災害の怖さも教えていかなきゃなとも思っています。」

▶明香さん「震災の後、何日か、いつでもすぐに逃げられるように普段着のまま寝てたりしたよね。」

▶暁人さん「震災関連のドキュメント番組など見る機会が増えましたが、子供のことを考えると気になってしまう情報も多くて…。どこまで情報を信じて良いのか、取り入れれば良いのか…。自分で調べるのも限界があるし…。心配事が増えましたね。」

●10年後のイメージは？

▶暁人さん「このまま普通で平凡な幸せが続いていけばイイなど。悠歩は、今はよくパン屋さんごっこしているけど、その頃は何になりたいって言ってるかね？」

▶明香さん「続いていけばイイですね、成田本店もPaxも。その頃CD業界はどうなっているとか…。」

▶暁人さん「『もぐらや』のカウンターは黒光りして丸みを帯びて…。子供、3人目が増えているかも。4人目！？とにかく、子供たちのためにも10年後は心配事が減っていれば良いですね。何も気にせず出歩けたり食べれたりできていればいいな。」

【取材後記】ご存じの方も多いと思いますが、熊谷くんはバンド「うきぐも (<http://www.geocities.jp/ukigumopage/>)」の歌とギターを担当しております。聴くと、とってもほっこりします。また、ヤキトリマンと一緒に「もぐらや」(<http://www.moguraya.net/>)も経営されております。行くと、とってもほっこりします。どちらにも彼特有の空気が感じられます。そして、奥さんの明香ちゃん、娘の悠歩ちゃん、息子の陽太くん、家猫のネコさんからも似たようなものを感じました。もぐらやで瓶ビールをちびちびやりながら、私はそうほっこりしたのであります。(今号No.040の撮影とインタビュー担当者：なるみしう)

【寄付総額】2011年6月～2015年6月30日まで「¥3,305,321」を、あしなが育英会「あしなが東日本大震災遺児支援募金」へ寄付することができました。ご支援に深く感謝致します。

【定期購読のご協力を!】1年間の定期購読を承ります。1,800円(送料・寄付含)／1年間(12号)です。このフリーペーパーは定期購読の皆様のご支援で発行されております。ご支援の程、宜しくお願ひ致します。ご希望の方は、ウェブショップ (<http://shop.tovo2011.com>) よりお申し込みください。